

# 宮古教育時報

発行者 沖縄県教職員組合  
 宮古支部 情宣紙  
 TEL 72-3328 FAX 73-2603  
 ◇ 各分会の情報をお知らせ下さい。  
 E-mail: otu-m@miyako-ma.jp

## ちょっと待って！学校統廃合

### “教育の日” 来年度から持ち方変更へ

去る2月22日(火)、宮古島市教育委員会にて“学校統廃合中間答申に係わる要請・質問”と“教育の日”についての意見交換を教育長と行いました。学校統廃合については、①「適正規模」の教育的根拠は何か明らかにすること。②大きなリスクを背負ってまでも統廃合しなくては行けない理由や統廃合を実施した場合の宮古島市としてのメリット、デメリットを明らかにすること。また、統廃合が宮古島市の学校教育の充実、発展にどのように貢献するのか具体的なビジョンは。③主人公である子どもたちやその保護者、地域住民や教職員が十分にこの問題に対して意見交換を積み重ねていく時間の保障を設けること。(統廃合に係る手続きについては、旧文部省通達〈昭和48年9月27日付け〉「公立小・中学校の統合について」において、「学校規模を重視する余り無理な統廃合を行い、地域住民との間に紛争を生じたり、通学上著しい困難を招いたりすることは避けられなければならない。また、小規模校には教職員と児童・生徒との人間的触れあいや個別指導面で小規模学校としての教育上の利点も考えられるので、総合的に判断した場合、なお小規模校として在置し充実する方が好ましい場合もあることに留意すること。」「学校統合を計画する場合には、学校の持つ地域的意義等も考えて、十分に地域住民の理解と協力を得て行うように努めること。」と指摘されている。)④これまでの学校規模適正化検討委員会で議論された全議事録の公開を求めます。の4点を文書にて回答を求めました。

その後の意見交換では、今回の学校統廃合に関して当初、小学校の複式学級解消のために検討委員会が発足されたが、小学校の統廃合に関しては地域からの否定的な意見があり時期尚早、中学校の統廃合に関して検討委員会としては、①社会への適応性や協調性を育てる必要がある。②互いに切磋琢磨や競争心を向上させる教育が必要。③団体活動(特に部活動)や個性ある活動が必要とし、そのためには一定の人数の中での教育が必要であるなどの理由から、今回中間答申としてまとめた。さらに中学校の統廃合に関しては「地域から反対の声が挙がってきていない。」との話しがありました。

しかし、検討委員会での議論には主人公である子どもたちをはじめ、その保護者や地域住民の声が見えないので、拙速な統廃合ありきの進め方ではなく、一人ひとりの子どもの教育にとってどういう教育条件が必要なのかを父母や地域住民、教職員の参加で総合的に検討し、合意を得て行うようお願いした。委員会としては今回の中間答申ですべて決定(計画通り統廃合実施)ではなく、これからも段階を踏まえ議論をしていくとのこと。また、検討委員会において今回の統廃合に関して「一切財政的な面での統廃合の議論ではなく、子どもたちのために」と強調していました。

宮古支部としては今後もこの件に関して継続的な取り組みをしていきたいと考えています。

さて、教育の日に関する話し合いでは沖教組宮古支部が教職員向けに昨年実施したアンケート結果(資料1を参照)より、「現在の教育の日の持ち方では学校現場は非常に負担であり、教育の日の趣旨から(地域や家庭教育の推進)も是非委員会が主になり、教育講演会や教育フォーラムを実施し、多くの市民が参加できるような形で進めて欲しい。」との意見を出しました。「教育委員会としてもその件に関しては十分に理解しており、来年度からの教育の日には教育委員会を中心にした取り組みに変えていく。」「学校での取り組みは、教育月間中に無理なくできることをやってもらいたい。」との回答がありました。

#### 資料1 教育の日についての教職員アンケート中間報告

- ・教育委員会が中心になって家庭教育を考える日なら必要(教育講演会等)
- ・「教育の日」と設定し、各家庭に意識づけするのは良いと思う。だからこそ学校だけに任せるのではなく、家庭での教育をしっかりしていこうと再確認できる日にした方が良い。
- ・教育の日をもつのであれば家庭教育に関する講演会をもつなど委員会が主になって行う方が良い。
- ・教育に関心を持ってもらうためにも、各学校が行っている発表会等で子どものがんばりや成長を見て

もらうのも大切ですが、保護者にもっと学校教育や家庭教育の重要性を知ってもらうために、各学校現場に任せるのではなく、委員会が中心となって教育講演会等を取り組んで欲しい。

- ・あえて「教育の日」としなくても、学習発表会か学芸会か学対報告会等、学校それぞれの名称で日程も各々で良いのでは。
- ・年に1回教育について考える。市全体で取り組むのは良いことだと思います。しかし現状では他の学校の取り組みが分からない。(見ることができない)日程は各学校に任せたり、また教育講演会等の実施など委員会が主体となって実施して欲しい。
- ・キビ苳り忙しい時期でもあるし、小中同じ日に別々でやってもあまり意味がなく、今のままだとなくともいいと思います。
- ・これまで数年間実施してきて教育的効果があるのか疑問。
- ・父母は普段から学校へ来る機会がある上に、中体連行事等にも参加・応援できるようになっている。だからわざわざ「教育の日」と設けて実施する必要はない。
- ・なくした方が良くと思います。意義は十分わかりますが、十分な条件整備もないまま導入され、現場の混乱も多いです。子を持つ教員、受験業務を抱える担当、涙をのむ泣き寝入りする、無気力になる教職員が大多数だということ、そして大きな収穫・成果もないままに毎年繰り返される。宮古島のことなかれ主義的な教育行政に怒りを感じます。
- ・その場しのぎの日程や内容になっているので不必要である。
- ・休日に授業をし、わざわざ月曜に振替すると親の負担(食事など)も大きいと思います。あまりにも多すぎる行事で更に学校は負担が多いです。
- ・不必要である。学校独自の取り組みで良いと思う。宮古島市で一斉にした場合のデメリットを考えて欲しい。もし持つなら、委員会が主になって教育講演会等の実施等を考えて欲しい。
- ・学校においても家庭においても毎日が「教育の日」である。日曜日に設定することで教職員の負担は増すばかりで、教職員の親は我が子の参観に行けない状況が生まれている。故に「教育の日」を設定する必要はないと考える。
- ・特別に「教育の日」としなくても、それぞれの学校で多くの取り組みをしているから不必要である。
- ・なくす方向で進めて欲しい。授業参観の実施など学校行事とだぶっている。
- ・この日を設けたとしても、特に何が変わっているのかが分からない。教職員の中にも、保護者の立場である人もいるので宮古全体一斉にやっても不都合だと思う。毎年、保護者からもなぜこの時期なのかという意見もあります。
- ・教育を考える日を設定したことで特に効果があがっているとは思えないし、学校行事が同じ日に一斉に行われるのも不都合が多い気がする。教育に対する意識の改革であれば教育の日はなくてもよいのでは...
- ・学習発表会を行う学校が多く、ここ数年、自分の子どもの発表会を見に行けずにいます。現場では、日々子ども達の学力を向上させるために取り組んでいるのでわざわざ特別に設定しなくても良い。成果報告の仕方は各学校に任せた方が良くと思います。
- ・名前だけの様な感じがする。もしどうしても「教育の日」を設定するのなら、各学校現場に任せるのではなく、委員会が中心となって教育講演会等の実施等をして欲しい。
- ・親もおどろくらいしか見ない。教育講演会や学対報告は全く興味もないし、学校だけが忙しく成果が感じられない。どの時期に移動しても多忙化は改善されないし、教員の子どもは報われていません。教育の日には、いつもつらい思いをさせています。
- ・毎日の生活が教育の日であると思います。家庭教育の充実を呼びかけることが大切な事だと思います。
- ・学校は毎日が教育の日であり、イベント的な教育の日はない方が良くと思う。
- ・特別に教育の日を設定しなくても、学校行事として月1回ペースの参観日があったり、学芸会等で保護者に児童生徒の活動を公開・披露する場があるので必要ないと思う。
- ・学校現場の2~3月は、まとめの時期で大変忙しく、教育の日に向けて取り組む余裕がないのも現状。

\*各意見にほぼ共通するのが今のまま(各学校ごとの取り組み)は厳しい。「教育の日」を設定するのなら委員会が中心になって家庭教育関連の講演会等の実施を考えて欲しいとの意見が大多数を占めている。その他たくさんの意見が寄せられました。アンケートご協力ありがとうございました。

**2011年 3月4日(金)は沖教組役員選挙投票日です!(期日前投票2月28日~3月3日)**

**2011年 3月17日(木)は沖教組青年部長選挙投票日です!(期日前投票 3月14日~16日)**